



滋賀県の介護をもっと身近に！「しがけあ」プロジェクトスタート

県内の若者たちに介護の仕事に対する関心を持っていただくために、本県新規事業として“滋賀県の介護をもっと身近に”をテーマに「しがけあ」プロジェクトをスタートさせました。

令和3年11月11日から特設ウェブサイトを開示しており、随時情報を加えていくとともに、令和4年2月にはイオンモール草津において、県や介護業界、その他関係者が一緒になってイベントを開催するなど、様々な機会に県内の若者たちに介護の仕事に触れていただきます。



令和3年度事業内容



- 令和3年11月11日（介護の日）から「しがけあ」特設ウェブサイトを開示しており、以下の情報を更新していきます。<https://shigacare.fukushi.shiga.jp/>
 - ①ONとOFFのケアニン：仕事もプライベートも充実している介護職員の様子を紹介。
 - ②NEXTケアニン：未来の介護職員を目指す学生の介護業界を目指すきっかけや思いを紹介。
 - ③#しがけあガールズ：カメラガールズとのタイアップコンテンツ。カメラガールズが実際に介護現場取材し撮影した写真を紹介。
 - ④人気Vtuber コラボ：県内在住の人気Vtuber「ぽこピー」が介護現場をレポート。
 - ⑤介護のしごと座談会：特別ゲストを迎え、県内の若手介護職員等との座談会を開催。
- 介護の仕事の魅力発信イベントを開催します。

開催日：令和4年2月6日（日）予定

場所：イオンモール草津

内容（予定）：特別ゲストを迎えたステージイベント、ブース出展、映画上映

背景

- 今後、本県において人口・生産年齢人口が減少しつつ 2025 年頃に高齢者人口のピークを迎える見込みである中、2021 年に行った介護人材需給推計によると、本県において、令和 7 年(2025 年)に約 3,200 人、令和 22 年(2040 年)には約 10,500 人の介護職員が不足するとの見込みになっている。
- 現状においても、令和 2 年度の本県の有効求人倍率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全産業平均が 0.79 倍と 1 倍を割り込む中、介護関係は 3.05 倍となっており、直近の令和 3 年 9 月でも全産業平均の 0.87 倍に比べて介護関係は 3.02 倍と深刻な状況は変わっていない。
- とりわけ介護業界に対するイメージや理解の現状は、実態と離れた思い込みが就職への妨げのひとつの指摘もあり、県では、令和元年度から「滋賀県介護の魅力等発信部会」を設置し、介護の仕事の魅力発信とイメージ向上策の具体化に向け、介護業界とともに検討を重ねてきた。
- 令和 2 年度はコロナ禍の影響により事業開始を見送ったが、本年度から事業を本格的に始動することとした。

(滋賀県介護の魅力等発信部会概要)

令和 3 年度

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryohukushi/koureisya/320941.html>

令和 2 年度

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryohukushi/koureisya/316445.html>

令和元年度

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryohukushi/koureisya/314445.html>